

5年ぶりの池ノ塔—芳ヶ平パウダーツアー報告

【山城】 志賀横手山—芳ヶ平

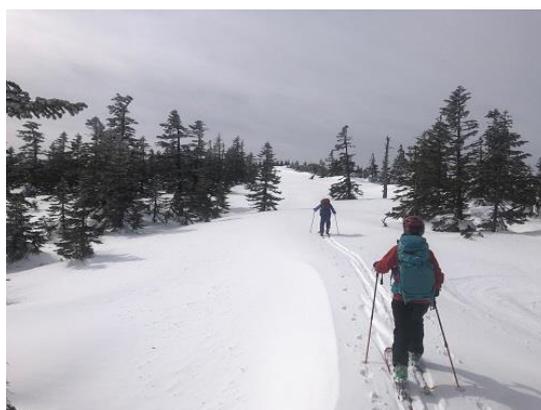
【日程と天気】 2020年3月7日(土)晴れ

【メンバー】 CL 菊池・瀧瀬・加藤

【行程】 千葉 3:15—志賀横手山スキー場駐車場 8:50—リフト2本—横手山山頂—渋峠
スキー場滑走—シール登行—10:11 池ノ塔(2217m)—国道292号—南東尾根—芳ヶ平 11:
42—シール登高—13:21 国道292号国道最高地点—渋峠—13:55 横手山山頂ヒュッテ
—ゲレンデ滑走—駐車場—松川溪谷温泉「滝の湯」—帰葉



・3/7、5年ぶりに横手山・池ノ塔—芳ヶ平山スキーに行ってきた。横手山スキー場のリフトを運転開始直後に乗り、横手山山頂から渋峠に滑り込み、池ノ塔に向かってシール登行です。前日午前中までの降雪でリセットされた真白なシラビソ林を気持ち良くハイクアップです。



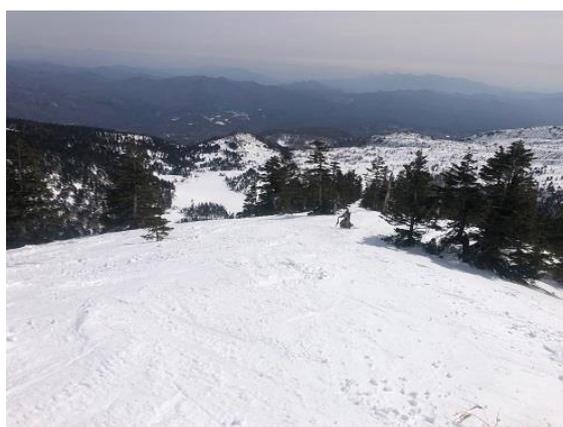
2217m の池ノ塔に到着です。今回の相棒です。TA さん初挑戦エリアです。草津白根山をバックに記念撮影です。5 年前までは大勢の山スキー仲間が芳ヶ平ヒュッテに宿泊、度々ここまでシール登高したが、メンバーの老齢化などで中止、今回は日帰りで久しぶりのこの景色を楽しみました。



- ・まず国道 292 号線までの滑走です。風でシュカブラ形成やパックされたエリアもありますが、良質パウダーで快適滑走できるエリアもあります。国道に出ました。カール状の急斜面にはシュプールが刻まれています。今回はその先の尾根ルートを通ります。



さあこれから尾根ルートの滑走です。先行シュプールがかなりあります。滑り出しはやや硬くクラスト気味でプルークなどを交え慎重に滑走します。シラビソ林に入ると滑りやすい雪質となりました。すぐにシラビソの疎林エリアに出ます。この日は風も殆どない絶好のツアー日和、スキー場に最高気温予想は 1℃位ですが、10:55 に時点でやや重ですが上質のパウダーが



温存されていて、気持ち良くテレマークターンを刻めました。この尾根ルートは南東向きで、緩斜面・中斜面・急斜面が織り交ぜられており、標高差 350m ほどの変化に富んだ素晴らしいツアーエリアである。



この日は先行シュプールがそれなりにあったが、左端にやや急な沢地形のノートの雪質の良い斜面がある。以前よりこの斜面を素晴らしい感触で滑走していたため、今回も飛び込んだ。やや重であるがやはり素晴らしかった。このエリア初挑戦の TA さんも安定した滑りを披露していました。



オープンスペースでは、下部に行くほど重いパウダーであるが、まあまあの滑り感触を味

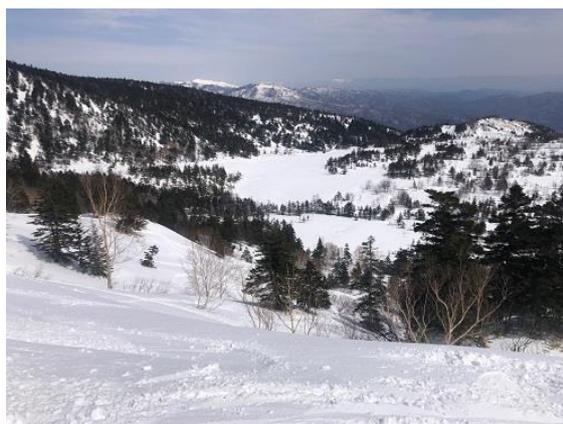
わうことができた。芳ヶ平の平地に降りる直前の斜面です。最後までパウダーシュプールを刻みました。



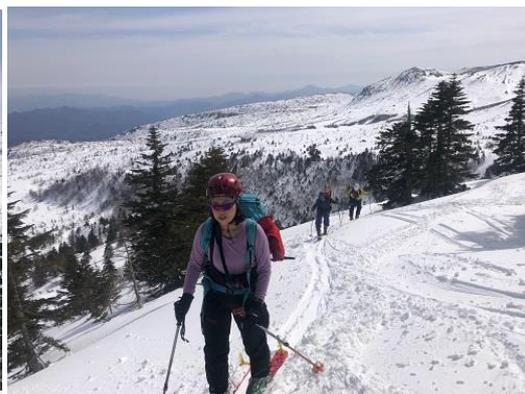
池ノ塔—芳ヶ平：尾根ルートで久しぶりの素晴らしいパウダーランを堪能できました。地元長野県の3人Pと談笑しながら休憩しました。この3名は主に白馬地区などでBCを楽しんでいるが、このエリアのBCは初体験とのことですが、絶賛していました。わがらば山の会では、15年以上前から1月下旬に毎年芳ヶ平ヒュッテに宿泊して、このエリアの素晴らしいBCを楽しんでいた。標高1800m以上であるため、気象状況によっては厳しいエリアであり、最近はメンバーの高齢化などのため、恒例のツアーは中止していた。しかし、やはり素晴らしいツアーエリアであることを再認識した以上は、今後も頑張って訪れてみたい。



- お楽しみの後は、標高差350mほどの登り返しです。初めの尾根に取りつくところは急斜面で頑張りが必要ですが、ラッセルは深くありません。尾根に乗り上げると滑走シュプールを辿って楽をしながらハイクアップします。我々のシュプールの刻まれた斜面が見え、芳ヶ平湿原、ヒュッテが見



るところまで来ました。噴煙が 6~7 か所連なっています。以前より噴煙の箇所が多くなっているようです。火山・地震活動が活発になっているのでしょうか。素晴らしい山スキーエリアは火山活動の活発なエリアが多く慎重に行動せねばなりませんね。以前万座スキー場から最短距離で芳ヶ平ヒュッテまで日帰りで往復した経験があり、この時には怖いもの知らずに、この噴煙エリアのすぐ下を通過しました。またちば山に入会する直前の 20 年ほど前に渋峠から白根山山頂経由で湯釜の淵まで滑り込み、記念撮影したことが蘇ります。今考えると恐ろしいことをやっていたのだと思います。辛い登りも終盤です。急斜面をトラバース気味に登りますがかなり暑く、ウェア調整しました。



国道最高地点(2172m)で最後の記念撮影です。この地点は皆さんそれぞれ思い出に残る地点のようです。芳ヶ平ヒュッテは平成天皇夫妻も訪問しているとのこと、久しぶりに秋の紅葉時期にでも宿泊したみたいと考え始めました。カールの急斜面には素晴らしいシユプールが多く刻まれています。小生も何回も滑走しましたが、この年齢になると気後れします。このエリアは「心のふるさ」として思い出にしまい込んでおきましょう。



渋峠からリフトに乗り、横手山山頂ヒュッテに午後2時頃到着しました。ボルシチを食べながら30分の休憩、コロナの影響でしょうか、混雑していませんでした。ゲレンデ滑走は初めのガリガリバーンでファットはエッジが利きません。次第に雪質が良くなりますが、老体にはテレターンは負担になります。最後までアルペンで筋肉疲労を少なくしました。今シーズン最後となるパウダーツアーを久しぶりの芳ヶ平で堪能できました。満足の一日の締めくくりは松川渓谷温泉「滝の湯」で汗を流しました。

